

本日発表された2級土木施工管理技士（種別土木）の合格率は、学科がほぼ前年並みの54.9%（昨年53.2）に対し、実地は40%と昨年23.9%に対して大幅な伸びとなった。

この結果について、試験実施団体では特にコメントをしていないが、施工経験記述問題の**記述条件（解答速報参照）**の周知、並びにその対応が浸透してきたことによるものと思われる。

<アドバイス>

- 残念であった方は、学科試験にあっては、特に土工・コンクリート工の過去問題（最低5年分）の出題内容をよく点検し、その理論的背景（何故そうなのか）をしっかりと掴んで下さい。
- 学科問題と実地問題は相い連動しています。学科の問題は実地試験の解答集のようなものといってもいいぐらいです（学科には出題がないものもありますが）。重要な用語、数値、工法等の文章説明の仕方、漢字でちゃんと書けるように問題の文節を書き写して覚える努力も必要では？
- ずいぶん難しいことばかり言った様ですが、出題レベル、範囲とも難易度を高めていますのでそれなりの努力が必要です。逆に言えば、的を外さずそれなりの努力を重ねれば、合格することは全く難しくありません。がんばって下さい！
- 最後に合格された方へ
この試験問題の合格基準をよくぞ突破されました。敬意を表します。

専任講師 松永勝宣